

メーデー宣言

本日、私たちは第87回京都中央メーデーを開催した。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から5年が経過した。今もなお、約17万人もの人々が避難生活を余儀なくされ、大切な家族や仲間、穏やかな日常、故郷を失った深い悲しみや喪失感を乗り越え、懸命に暮らしの再建に取り組まれている。私たちは、そのような人々の現状や思いを強くかみしめ、労働運動の原点である「支えあい・助け合い」の理念とともに「絆」の尊さを貴重な財産として、いま一度被災地に寄り添い続ける気持ちを行動で示していくことが重要である。

一方、わが国の経済・社会は、依然として格差の拡大に歯止めがかからず、人口減少社会への突入、大幅な財政赤字、社会保障制度改革の遅れなどが相まって、人々の暮らしの閉塞感が拭えていない。私たちは2016春季生活闘争において、すべての働く人々の処遇改善に取り組み、「底上げ・底支え」「格差是正」で経済の好循環をめざして粘り強く闘い続けるとともに、「暮らしの底上げ」「労働者保護ルール改悪阻止」「介護や子育て支援の充実」「健全で緊張感のある政治」を実現させるため、働く仲間のみならず、地域で暮らす人々と心がひとつに力合わせ、「クラシノソコアゲ応援団！2016RENGOキャンペーン」の取り組みを拡げていかなければならない。

メーデーは労働者の国際連帯の日である。自由と平和を脅かす地域紛争やテロ事件が世界各地で相次ぎ、加えて労働者の人権侵害もあとを絶たない。私たちは、未来へ平和を繋げるとともに、人権侵害救済やディーセント・ワークの実現のために、国際労働組合総連合（ITUC）や諸外国の労働組合の仲間と連帯し、自由で民主的な労働運動とすべての働く仲間の幸福を実現するための取り組みを強化する。

折しもこの春、政府機関の地方移転に関する基本方針によって、文化庁を東京から京都に移転することが決定した。今後、世界からは、文化都市としての資源や発信力にとどまらず、そこに働き暮らす人々の日常をも注目されることとなる。私たちは、世界から模範として注目される「京都」を築き、「働くことを軸とする安心社会」を実現させるとともに、「支え合い助け合おう！みんなの笑顔のために」を実践していくことを、今ここに宣言する！

2016年4月29日

連合京都第87回京都中央メーデー

メーデーのはじまり

8時間は労働に、8時間は眠りに、そしてあとの8時間はわれわれの自由に

メーデーは1886年5月1日に米国の労働者が8時間労働日を求めてゼネストに立ち上がったのを起源とします。当時、米国の労働者は低賃金と長時間労働に苦しめられ、労働時間の短縮は切実な要求でした。第1回国際メーデーは1890年にスタートしました。

日本では1920年5月2日に第1回メーデーが東京上野公園で開かれました。しかし治安維持法の下で労働運動は弾圧され、日本が次第に戦争へのめりこむ中で、1936年に起きた「2・26事件」を契機にメーデーは禁止されました。

第二次世界大戦後、メーデーは労働組合の復活とともに再び開かれ、わが国の労働者に地位や労働条件の向上、権利拡大をはじめ、人権・労働基本権の確立、民主主義の発展、恒久平和の希求に深く貢献し、その役割を果たしています。

第87回京都中央メーデー

組合員とご家族、地域参加で14,000人が集う

大型連休の初日となる4月29日（金・祝）、連合京都は、構成組織や交友団体とともに梅小路公園芝生広場で第87回京都中央メーデーを開催しました。組合員・家族や地域参加も含め、14,000人が集う式典に、MK労働組合からは16名参加しました。式典では、14日から発生した熊本地震による犠牲者への全員黙祷を捧げるとともに、労働運動の原点である「支え合い・助け合い」運動の一環で緊急カンパの取り組みに参加しました。

